

# きょういく・さど



平成24年7月20日  
第27号  
佐渡市教育委員会  
学校教育課

## 学力プラスアルファ

教育長 小林 祐玄

教育の大切さを説く言葉の一つに「100年先のことを考えるなら人を育てよ」というものがあります。これは1年先に目標をおくならば種をまき、10年先に目標をおくならば木を植えよと、漢の時代の『管子』に出てくる言葉だそうです。



では、どのような人を育てればよいのでしょうか。佐渡市の場合は「佐渡市学校教育基本構想」にあるように「確かな学力を身に付け、夢と誇りをもって自立する人づくり」を目指しています。

甲斐市長は市政方針演説で、より具体的に次のように述べています。「トキ、佐渡金銀山、佐渡おけさなど本市の魅力である自然、歴史、文化を学ぶ佐渡学を充実させ、将来、佐渡のことを語る人材を育成します。また、職場体験等を通して市の産業や働くことの意義を学び、本市に定着して活躍できる人材の育成に取り組みます。」

100年先に目を向け、こういう人を育てたいと思っているのです。

学校教育ですので、どの子どもにも学力を付けてやるというのは全国共通の目標です。当たり前なことなのです。重要なことはプラスアルファで具体的に何を身に付けさせてやるのかです。そのプラスアルファの部分で佐渡市の場合、上述したことになるのです。

私などは、ともすると抽象的な教育論に陥りがちになりますが、具体的な「期待する人間像」を描くことの出来ない教育であってはならないと思います。遠く100年先に目標を置きながらも、今、この時点で具体的な「はぐくみ」をしていく必要があるのだと思います。

## 佐渡の学力向上

下越教育事務所

指導主事 上野 昌弘

前期の学校訪問を通じて、佐渡の学力向上の基盤は、各校の熱意と努力によって着実に築かれつつあると感じています。その取組をより確かな成果につなげるために、次の三つのことが大切であると思います。

一つは、個に応じた指導の力量を高め、授業力をより確かなものにすることです。佐渡には小規模で、平均点で分析することが効果的ではない学校も多くあります。一人一人の子どもの学力実態を多面的にとらえ、一人一人に合った指導・支援により、確かな伸びを実感・納得させる指導が不可欠です。個を的確にみとり、個を確かに伸ばす指導力を付けるために、認知カウンセリング等の研修を深めることが効果的です。

一つは、伝え合い、学び合いの態度、技能の指導力の向上です。場を設定するだけでなく、その場をコーディネートする力量が必要です。発言の仕方、聞き方等のスキル、話し手聞き手の責任、そして、マナーをしっかりと指導することが一人一人の子どもの安心と豊かな学びを生み出し、学ぶ意欲を高めていくのです。



一つは、これらを含め、一人一人を小中連携した9か年の中で指導し、育てていく具体的な計画、システムづくりです。小中連携はもとより、保護者との連携、地域の教育力を効果的に取り入れることが重要です。小中合同の情報交換や研修、保護者、地域の方を巻き込んだ授業交流など、子どもを多面的に、かつ、継続的にみとり、9か年で育てていくという意識、連帯感の中で、実効性のある小中9か年の教育課程が編まれ、実践されていくことが望まれます。

## いじめ問題と向き合う

教育指導主事 吉田 久人

毎日、テレビ・新聞で滋賀県大津中事件が取り上げられています。亡くなった生徒に対するいじめの実態が日々明らかになるにつれ、耳を塞ぎたくなる、目を覆いたくなるような信じられない様相が見え、子どもの人権が守られていないことに強い憤りを感じます。

学校という場でこのような不幸な事件が再び起きてはなりません。警察が介入し、報道にさらされ、真実が明らかにされることを強く願います。

いじめは様々な形態をもって表面化します。相手への攻撃的な言動だけではありません。仲間外しと称する無視や陰湿な手紙やメールでの攻撃もあります。また、いじめられていた子がいじめ側になるいじめの連鎖も懸念しなければなりません。

要するに良好な人間関係を築けないことが問題の背景にあり、深刻化すれば命を絶つ重大な問題になる要素をはらんでいます。

佐渡でも問題の深刻さに違いはあるものの、多くの学校がいじめ事案の対応に苦慮していることは事実です。

友達とぶつかりながら成長する子どもたちに、いじめは人権侵害にもつながる行為であること、社会で許されないことは学校でも許されないことを改めて指導する必要があります。

まずは先生方が児童生徒と共に活動し、近くで見守ることが必要です。全教職員の目でいじめを見逃さない学校の体制が必要です。いじめを認知した場合は、初期段階でいかに毅然と対応できるかが問題を深刻化させないために大切になります。子どもと共にいじめを許さない学校風土づくりを一層進めてください。

もうすぐ夏休みになり、子どもは家庭に返されます。しかし、この期間でも兆しが見られたらすぐに対応できるよう、家庭との連絡を密にしておくことをお願いします。



## 「授業の達人」養成研修講座

教育指導主事 笹本 芳廣

佐渡総合教育センターの研修事業の一つに「授業の達人」養成研修講座があります。

今年度の受講生は3名です。(小学校2名、中学校1名)

受講生は、研修テーマを決めて3回の授業研究を行い、指導者から授業評価と指導を受けます。3学期には研修成果をまとめてポスターセッション形式で発表会を行い、当センター所長が修了認定をします。

この講座は、平成19年度に始まりました。これまで22名の先生方に修了証書が授与されました。内訳は、小学校19名、中学校3名です。教科別では、算数9名、国語6名、社会5名、英語・特支各1名となっています。小学校中心で、算数、国語に集中する傾向があります。



この講座修了生には、校内研修をはじめ、当センターや佐小研・佐中研で行う研修会などでの指導的な役割が期待されています。

授業が教師の命です。先生方には、この講座を自身の授業力を鍛える道場として積極的に活用していただきたいと考えています。

### 2学期の研修講座案内

- 9/12 国語科講座：講師 足立幸子準教授(新大)
  - 9/26 教務主任講座：発表者 行谷小・羽茂中教諭
  - 10/3 特別支援講座：講師 長澤正樹教授(新大)
  - 10/19 社会科講座：講師 松本真一郎教諭(河原田小)
  - 11/14 情報モラル講座：講師 庄山忠彦校長(松ヶ崎小中)
  - 11/27 生徒指導講座：講師 指導主事・スクールカウンセラー
  - 12/10 キャリア教育講座：発表校 小木小・小木中
- ※ 詳しい案内は、講座の1か月前までにメールでお届けします。

### 職員の異動のお知らせ

教育長は5月8日付け、課長は7月1日付けで異動がありました。

教育長 退任 白杵 國男  
新任 小林 祐玄

課長 吉田 泉 (課長補佐より)  
小林 泰英 (社会教育課長へ)